



来る！水素社会

—地域でつくり地域でつかう水素の可能性—

2020.11.11. 13:30-15:30



開催趣旨

環境省は、ウィズコロナ・ポストコロナ時代において「脱炭素社会への移行」「循環経済への移行」「分散型社会への移行」という持続可能で強靱な経済社会への「リデザイン（再設計）」に取り組んでいます。

水素を活用して、これら3つの社会につながる取組みとは。水素社会の実現に向けて、地域の資源を活かして水素をつくり、はこんで、ためて、つかうといった低炭素の取組みとは。実は身近に来てしている水素社会とは。

本シンポジウムでは、水素の普及に向けた有識者、自治体などによる最新の動向を発信いたします。



お申込みはこちら

<https://hydrogen-moe-form.info>

応募時に入力されたメールアドレスに視聴用 URL をお送りします。

プログラム

13:30-13:50

水素とは？

亀山 秀雄氏 東京農工大学 名誉教授（一般社団法人 水素エネルギー協会顧問、元会長）

13:50-14:10

水素、ビッグデータを活用する将来のエネルギー社会とは？

伊原 学氏 東京工業大学 物質理工学院応用化学系 教授（東工大 InfoSyEnergy 研究 / 教育コンソーシアム 代表）

14:10-14:30

水素社会実現に向けた日本の取組とは？

環境省 地球環境局 地球温暖化対策課 地球温暖化対策事業室

14:30-14:50

産官連携による、新たな水素活用の取組とは？

武川 晴俊氏 神奈川県産業労働局産業部エネルギー課 課長

15:00-15:30

Q&Aセッション

日時 2020年11月11日 13:30-15:30

参加費
無料



問い合わせ

シンポジウム事務局（デロイトトーマツコンサルティング合同会社）

Email:low_carbon_h2@tohmatu.co.jp